

平成13、14年度に実施された(当所は14年度に実施)外部評価委員会による機関評価を受けて、県の9研究機関が各研究機関の評価委員長にその後の対応状況を報告するため、拡大評価委員会（主催は企画部科学技術振興課）が平成17年3月24日(木)に開催されました。この委員会において、当所では機関評価における対応状況を次のとおり報告しました。

温泉地学研究所の機関評価への対応について(平成17年3月現在)

主な提言	提言の内容	これまでの具体的な対応状況 (17年2月迄の実績)	今後の対応に対する実施計画 (17年度以降の目標)
1. 研究職員の人材確保	成果やノウハウが継承できるような人材確保を進めること	<p>様々な制度を利用して、外部人材を活用するとともに、人材育成に努めています。</p> <p>【外部人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部からの人材活用によって研究の推進を図っています。 (16年度)</li> <li>1. 任期付研究員(若手型) 1名(継続)</li> <li>2. 特別研究員 1名(新規)</li> <li>3. 特別研究員 (日本学術振会) 1名(新規)</li> </ul> <p>【客員研究員による人材育成と研究推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客員研究員を招聘し研究を推進しています(新規)。 客員研究員 3名</li> </ul>	<p>研究職員の補強、外部人材の活用および人材育成によって研究の推進を図ります。</p> <p>【計画的な人材の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究職員の退職により研究業務が支障しないよう、人材確保策を進めています。 地震・地殻変動担当 1名採用予定(17年4月)</li> </ul> <p>【外部人材の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部からの人材活用によって研究の推進を図っていきます。</li> <li>1. 任期付研究員(若手型) 1名継続予定(15~17年度)</li> <li>2. 特別研究員 1名継続予定(16~17年度)</li> <li>3. 特別研究員(日本学術振興会) 1名継続予定(16~18年度)</li> </ul> <p>【客員研究員による人材育成と研究推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客員研究員を招聘し研究を推進していきます(継続)。</li> </ul>
2. 重点研究に関する予算の確保	重点研究に関する予算を確保すること	<p>研究費の重点配分と応募型予算の確保を図っています。</p> <p>【経常研究費予算の確保と評価結果を反映した予算配分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所内予算を、経常研究費に重点配分しています。</li> <li>・研究課題の評価で予算を配分しています。</li> </ul> <p>【応募型研究の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募型研究(科学技術振興課)を実施しています。</li> <li>1. 政策課題研究 1件継続</li> <li>2. 重点基礎研究 2件新規</li> </ul>	<p>文部科学省の科学技術研究費補助金(科研費)等の応募型研究による外部資金の導入を図ります。</p> <p>【応募型研究の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募型研究などの外部資金の導入を図ります。</li> <li>・文部科学省の科学技術研究費補助金(科研費)の外部資金導入を図ります(科研費に関わる、機関としての指定を申請しています)。</li> </ul>

<p>3 . 学 会 参 加 の 促 進</p>	<p>研究職員の 学会や研究 会への参加 を促進する こと</p>	<p>研究発表を活発化させていま す。</p> <p>【研究発表に関する環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会発表に関わる旅費等、環境整備を実施しています。</li> <li>・研究発表（論文を含む）を活発化させてきています。</li> </ul>	<p>研究情報の集積を図るため、研究集 会を開催します。</p> <p>【研究発表等の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究発表（論文を含む）を一層充実します。</li> <li>・県西部地域の地震、地殻構造等の研究情報の集積を図るため、各分野の研究者を招聘した研究集会を開催します。</li> </ul>
<p>4 . 行 政 職 員 対 す る 技 術 的 な 支 援 行 政 業 務 と 本 来 業 務 と の 明 確 化</p>	<p>行政担当職 員に対する 研修等の推 進、本来業 務の検討、 整理を図る こと</p>	<p>行政業務との密接な連携を図 っています。</p> <p>【行政担当職員に対する研修支 援、研究業務と行政業務との連 携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉業務に携わる職員の研修等を支援しています。</li> <li>・地震・地殻変動の観測、監視業務と防災行政業務とを密接に連携して実施してきています。</li> </ul>	<p>中期研究計画の整理、更新などを実 施します。</p> <p>【行政分野との連携体制の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震・地殻変動の観測、監視業務と防災行政業務等、行政分野との連携を強化していきます。</li> </ul> <p>【中期研究計画の整理、更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画の抜本的な整理、更新を実施します。</li> </ul>
<p>5 . 研 究 所 の 広 報</p>	<p>県民へのP Rを推進す ること</p>	<p>広報の効率的な推進を図ってい ます。</p> <p>【効率的な広報の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習の催し等、青少年への啓蒙などを推進しています。</li> <li>・地震時の体感震度の調査等、県民の意識や体験を調査してきています。</li> </ul>	<p>アウトリーチ（対外活動）の展開と地 震データ等の公開を図ります。</p> <p>【県民の意向を意識した広報活動へのス テップアップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東大地震研究所と連携して、地域に根ざしたアウトリーチ（対外活動）に取り組みます。</li> <li>・ホームページを使って、常時観測している地震等のデータを公開します。</li> </ul>